

○平成29年度決算の概要

(1) 収支計算書の状況

① 資金収支計算書

資金収支計算書は、当年度の学園の全ての資金の動きを示したものです。

資金収入の合計は予算と比較して225百万円上回り12,801百万円となりました。一方、人件費・教育研究経費・管理経費などの資金支出は、予算を165百万円下回り10,334百万円となりました。なお、予備費のうち91百万円を人件費支出・教育研究経費支出等の予算に充当しています。その結果、翌年度への繰越支払資金は、予算を390百万円上回り2,466百万円となりました。

② 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、当年度の資金の動きを3つの活動に分類し、活動区分ごとに資金の流れを示したものです。

「教育活動」では資金収入が9,662百万円、資金支出が8,626百万円、調整勘定等が△128百万円となり資金収支差額が907百万円になりました。「施設整備等活動」では資金収入が159百万円、資金支出が1,254百万円、調整勘定等が△4百万円となり資金収支差額が△1,100百万円になりました。「その他の活動」では資金収入が213百万円、資金支出が167百万円となり資金収支差額が46百万円になりました。その結果、当年度の支払資金が146百万円減少し、翌年度繰越支払資金は2,466百万円となりました。

③ 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、事業活動ごとの収入および支出、基本金組入後の収支の均衡状態を明らかにすることにより、学園の当年度における経営状態を示したものです。

「教育活動収支」では収支差額が予算を287百万円上回り、△479百万円となりました。これは、主に寄付金が100百万円、雑収入が63百万円増加し、教育研究経費が111百万円減少したことによるものです。一方、「教育活動外収支」は収支差額がほぼ予算どおりでした。その結果、経常収支差額は予算を294百万円上回り、△332百万円となりました。

「特別収支」では収支差額が予算を57百万円上回り、157百万円となりました。これらの結果、基本金組入前の当年度収支差額が△175百万円となり、基本金組入額1,110百万円を計上後の当年度収支差額は△1,285百万円となりました。

また、当年度収支差額△1,285百万円に前年度から繰越された収支差額△14,613百万円、基本金取崩額9百万円を加算した結果、翌年度繰越収支差額は15,889百万円の支出超過となりました。

(2) 貸借対照表の状況

貸借対照表は、当年度末における学園の財政状態を示したものです。

「資産の部合計」は80,107百万円で、前年度末に比較し462百万円の減少となりました。有形固定資産が363百万円減少、特定資産が130百万円増加、その他の固定資産が1百万円減少、流動資産が226百万円減少したことによるものです。「負債の部合計」は4,170百万円で、前年度末に比較し286百万円の減少となりました。「純資産の部合計」は基本金が1,100百万円増加、繰越収支差額が1,276百万円減少し、前年度末に比較し175百万円の減少となりました。その結果、翌年度繰越収支差額が15,889百万円の支出超過となりました。